



2025年2月14日

各位

会社名 Green Bee 株式会社
代表者名 代表取締役社長 岩本 定則
(コード番号：3913 東証グロース)

問合せ先 コーポレートコント
ロール本部長 杉山 了
兼 経営企画室長

(TEL. 03-6262-8660)

**営業外収益（為替差益）、繰延税金資産の計上、
2024年12月期通期連結業績予想と実績との差異、
個別実績の前期実績との差異に関するお知らせ**

当社は、2024年12月期におきまして、下記の通り、営業外収益（為替差益）、繰延税金資産を計上しました。

また、2024年2月14日に公表しました2024年12月期通期連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じ、2024年12月期の個別実績につきましても、前期実績との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）、繰延税金資産の計上について

2024年12月期において、為替相場の変動に伴い、為替差益9百万円を営業外収益に計上いたしました。当該金額は、当社グループが保有する外貨建金銭債権債務の決済及び評価替えにより発生したものであります。

また、今後の業績見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、2024年12月期において、繰延税金資産を計上いたしました。これにより、法人税等調整額14百万円（益）を計上いたしました。

2. 2024年12月期通期連結業績予想と実績との差異

(単位：百万円)

	連結 売上高	連結 営業利益	連結 経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	898	46	46	34	15円08銭
実績値(B)	806	50	60	63	27円88銭
増減額(B)-(A)	△92	4	14	29	
増減率(%)	△10.3	9.5	30.1	87.6	
前期実績	813	△41	3	△163	△72円58銭

【差異の理由】

(連結売上高)

主にGXサービス事業領域の売上が期初予算を下回ったことで、連結売上高は前回予想を下回ることとなりました。

(連結営業利益・連結経常利益)

連結営業利益は、売上高が下振れした一方で、コストの最適化、セールスマックスの変化等によって、前回予想を上回ることとなりました。

連結経常利益は、連結営業利益の上振れ、また為替差益9百万円の影響により、前回予想を上回ることとなりました。

(親会社株主に帰属する当期純利益)

連結経常利益の上振れ、また法人税等調整額14百万円の計上等の影響により、親会社に帰属する当期純利益は前回予想を上回ることとなりました。

3. 個別実績の前期実績値との差異について

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
2023年12月期実績(A)	610	△107	△97	△244	△108円21銭
実績値(B)	649	23	32	81	35円52銭
増減額(B)-(A)	38	130	130	325	
増減率(%)	6.4	-	-	-	

【差異の理由】

売上高は、DXサービス事業領域においてクラウドデータバックアップサービス「sMedio Cloud Backup」のビジネス規模が堅調に推移したこと等により前期実績を上回りました。営業利益、経常利益は、売上高が増加したこと、またコストの減少（前期は原材料の評価減70百万円を計上したこと等による影響）により前期実績を上回ることとなりました。当期純利益は、経常利益が増加したこと、また前期は一過性の費用（和解金の支払146百万円）が計上されていたこと等の影響により、前期実績を上回ることとなりました。

以上